

“街道テクテク・日光道中” No. 7 (2020-10-18)

・参加者：芦田拓也、荒木義修、碓貴臣、太田哲夫、後藤幸子、染谷ミドリ、高野泰三郎、政芳一、木村芳一

・行程：栗橋駅入口→古河本陣跡 7.4km

栗橋駅→栗橋駅入口（栗橋宿）→八坂神社（鯉の狛犬）→利根川橋→房川の渡し（将軍の日光社参の際の舟渡し）→利根川堤（中田宿）→鶴峯八幡宮（鎌倉鶴岡八幡宮を勧請）→光了寺→本願寺（発掘された板碑）→中田松原（戦時中に松根油採取のため伐採、現在復元中）→香取神社→浄善寺（大イチョウ）→古河城御茶屋口門跡→古河歴史博物館→鷹見泉石記念館→長谷観音（日本三大長谷観音の一つ）→本陣跡（史跡古河城下本陣、古河宿）→古河駅、解散

・1月以来、久々のテクテクです。利根川橋で利根川を越え、茨木県に入りました。栗橋から古河まで7km少しで、短かったですが、日本橋からの総距離は65.6kmになりました

・古河歴史博物館は旧古河城出城跡に開館されたもので、日本建築学会賞を受けています。まずホールにあるオランダ製のストリートオルガンでは、女性係員の手動による、迫力ある音楽を聴き、その後、古河藩家老の鷹見泉石が収集した蘭学関係資料、原始時代から近代の歴史、奥原晴湖や河鍋暁斎などの書画を見学しました。展示品の数は多く、時間不足でした。

・古河歴史博物館の前にある鷹見泉石記念館は鷹見泉石の晩年の住いを改修したもので、大変風雅な多くの座敷および庭園があり、楽しむことができました。またその外堀は長く続き、そのあたりの雰囲気には静かな趣がありました。

(木村芳一)

